第57回東海北區外引擎大会

清明公民館運審委員長 山田 眞一

令和4年9月8日 (木)・9日 (金) に第57 回東海北陸公民館大会富山大会が開催されました。運審連からは2日目の分科会に11名が参加しました。第4分科会では「with コロナの公民館活動」について2つの公民館(福井市清明公民館・富山市山室校下自治振興会)から活動報告の説明がありまし

た。両公民館ともコロナ禍でありながら、地域散歩、郊外イベント等を行い大変積極的に活動して地域の住民に喜ばれていることに感心しました。また、活動の活力は、公民館が地域住民の協力を得て「公民館」「地域」が車の両輪のごとく動いていることになるほどと思いました。

近年は、地域住民同士の関わりが希薄になっているので、公民館は常に地域住民の願いをくみ取り、事業を積極的に

進めていくことがとても大切だと実感しました。

公民館長、主事さんは地域住民に 寄り添いながら接していくことが大 切だと強く感じました。



第71回 福井県公民館大会に参加して

運審連副会長・一乗公民館運審委員長

小林 彰

10月19日(水)第71回福井県 公民館大会が美浜町生涯学習セン

ターなびあすにて開催されました。

福井県内から多くの各公民館の館長や主事・運審委員長・関係者が参加し、コロナ禍の中ということもあって厳かに開催されました。福井市からは、41 名の公民館関係者が出席し、運審連からは役員3名が参加しました。



今大会のテーマは「行ってみよう!やってみよう!公民館」〜ゆるやかなコミュニティづくりをめざして〜との大会で、記念講演では沖縄県の那覇市若狭公民館の宮城潤館長により「誰一人取り残さない地域社会をめざして」をテーマに実際に取り組んでいることをお話しされました。また、福井市からは、令和2年度文部科学省優良公民館表彰の優秀館を受賞された清明公民館川口館長により「ポストコロナを見据えた公民館活動」が事例発表されました。

この大会を通じて私が感じたことは、昨今の急激な少子化・高齢化による人口構造の変化や自然災害の増加、また、新型コロナ感染症の拡大等による一段と地域住民とのコミュニケーションが困難な時代となりつつも、積極的に住民が参加できるコミュニティが必要だと感じました。そして、ひょっとこ踊り美浜同好会によるアトラクションに感動しながら大会宣言や決議が満場一致で可決され終了しました。最後に、美浜町・若狭町の方々に感謝を込めて「ありがとうございました。」

「市長と語る会」の報告

令和 4 年 10 月 14 日 (金) 15 時より、アオッサ 6 階にて「市長と語る会」が開催されました。 福井市からは、東村市長、生涯学習課山本課長をはじめ 5 名、市公連からは 24 名、運 審連から 12 名の役員が出席しました。

主催者代表として市公連中村会長が挨拶、続いて東村市長の挨拶をいただき、意見交換を行いました。

運審連からは小林副会長より、3つのテーマを述べました。

- 1. 「防災に強い福井市を目指して」
- 2. 「地域力の維持について」
- 3. 「学校規模適正配置に伴う学校編成による公民館活動について」

その後、質疑応答があり、運審連酒井会長より、中学校の合併に関する質問がありました。 市長はテーマの中には難しい課題もありましたが、分かりやすく、真摯に語っておられました。

最後に運審連酒井会長が開催の謝意を述べて閉会となりました。

(車黎目







運審連副会長 足羽公民館運審委員長 坂井 国夫

北陸新幹線開通後のまちづくりをテーマに、11 月 29 日 (火) の 14 時から、まちづくり福井株式会社代表取締役社長 岩崎正夫氏を講師としてお迎えし、研修会を開催いたしました。

運審委員長(代理を含む)42名の参加がありました。

- 7つのテーマでお話を聞きました。
- 1. 北陸新幹線の開業効果
- 2. 福井駅に降り立つ人たちは・・・
- 3. 物見遊山から場所の過ごし方へ
- 4. 観光客にどう対応するか
- 5. 再開発事業でできること
- 6. イベントでできること
- 7. ひと中心のまちづくりに向けて





初めは福井で開業する芦原温泉駅・越前たけふ駅・敦賀駅の特徴等の話がありました。その後、福井駅の話となりました。福井駅は4駅の中で1面2線のためホーム下が狭く、カバーするために、東側に「観光交流センター」を建設するそうです。また、福井駅周辺整備では恐竜のモニュメントの設置がメインになると伺いました。恐竜が悪いことではないが物足りないとも話されていました。また、再開発事業も商業店舗もあるが、上階はマンションが多くどうなるのかなと思いました。

講演の後、3名から質問を受けて講師からのお答えをいただき研修会が閉会となりました。

講師のお話を私は厳しく受け止め、福井の各地区が誘客を迎えることを真剣に取り組むことが必要だと思います。

地区・地域で福井の良いところをアピールする事業計画を行って福井に来て良かったと思ってもらえるように、各地区・ 地域ガンバリましょう。



ます。

麻生津公民館

運審委員

吉田 康彦

THE ENUMBERS TO STANKE TO

麻生津地区では、だれもが安心して、くらし続けられるよう、「お買い物支援協力店」をまとめた便利帳を令和元 年から毎年発行しています。(麻生津地区ビジョン推進委員会発行)

便利帳は、移動スーパーをはじめ住まい・くらしにかかる協力店を紹介したもの。現在 29 店舗が登録し、配達・出張料の無料化や送迎といった特典付きもあります。また、福井市の相談窓口、各種支援事業の情報も分かりやすく案内していて、「妊娠・子育て中で時間がない」「重い荷物が持てない」「遠距離の移動が困難」など、困っている方に寄り添った内容となっています。

必要とされる方からのご意見ご提案を尊重し、より満足できるものとなるよう改訂を図り、この便利帳が地区住民 の皆様にとって身近で役立つ"くらしのバイブル"となっていくことを願ってい

この他、小学校と公民館が連携した「紙漉き体験」授業。地元の歴史・文化を 巡る「ウオークラリーマップ」や「記録映像」の作製・YouTube 配信。加えて、 新たにこども食堂や学習支援にも挑戦をはじめました。

事業の企画立案にあたっては、課題の共有と共感できる解決策、そして何よ

、りもプロセスを大切にしていきたいと考えています

